富山県立乳児院通信

いないいないばあ

● 発行元 ●
日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町２丁目１番３８号
電話　076-432-8137
FAX　076-432-8238

－　令和５年　夏号　－

お散歩コースに咲いていた紫陽花❀
とても綺麗に咲いていて、子どもたちも
思わず足を止めてみていました☺

‹富山県立乳児院ってどんなところ？›

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児（０～３歳まで）を保護者にかわって２４時間養育する施設です。（児童福祉法３７条に規定された児童福祉施設です。）

ご寄付、ご寄贈　ありがとうございました。

	お　名　前		
〈4月〉	窪田さん（富山県） 岡田さん（東京都）	髙本さん（富山県） 北田さん（富山県）	杉澤さん（富山県） 三井さん（富山県）
〈5月〉	山元さん（富山県） 池田さん（埼玉県）	仲程さん（富山県） 竹下さん（富山県）	
〈6月〉	常磐さん（富山県） 髙城さん（富山県）	細川さん（富山県）	

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理　　念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる
良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心にして安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報は大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

1	苦情解決責任者	久道　晴美（院長補佐）
2	苦情受付担当者	荒川　智江子（事務長）
3	苦情解決相談員	本間　一正、　岡田　芳美
4	苦情解決の方法	担当者が随時、面接、電話、書面などにより受け付けます。
5	苦情解決の連絡先	電話：076-432-8137　FAX：076-432-8238

管理栄養士より もぐもぐだより

６月のわくわくランチはハンバーガー＆ポテトでした。初めて食べるハンバーガーに大きな口でほおばる子、中のハンバーグを先に食べる子、ポテトを先に食べる子など、それぞれに楽しんでいました。

デザートは種なしぶどうでした。一粒一粒ニコニコしながら食べている様子がかわいらしかったです。

また次回も子どもたちがワクワクするようなメニューを考えたいです。

これからの行事

９月

運動会

１０月

秋の遠足

ハロウィン

富山県里親支援機関事務局

里親家庭で育った当事者のお話し、聞いてみませんか？

十月の里親月間に、里親講演会を開催します。今年は、里親家庭で育った当事者の方を講師にお招きします。

血縁関係のある家族との離別経験と、里親家庭への委託が決まった喜び等々…。そして、現在の里親制度に対する思いや、里子、里親への思い。

当事者の声を聞き、みなさんと一緒に里親制度への理解を深めていきたいと思っています。

『里親講演会』

広めよう里親ｉｎとやま２０２３

講師：坂本　歩（すすむ）氏

◇日　時：令和五年十月十四日
　　午後十三時半～

◇場　所：県民共生センター
　　サンフォルテ　ホール

◇定　員：１００名（託児室あり）

※事前に申し込みが必要です。

ご参加お待ちしています。

病児保育室　お　ひ　さ　ま

０歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。

利用時間　月曜日～金曜日　８：００～１７：３０

（ただし、祝日、5/1、12/29～1/3 は除く）

利 用 料　１回２０００円（昼食・おやつ代含む）

とやまっ子子育て応援券の利用できます。

富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。

お問合せ　（080）8697-2773(直通)　電話受付時間　７：30～17：00

※但し状況に応じて電話に出られない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

コロナ禍で休止している間、利用者の皆さんには大変ご迷惑をお掛けいたしました。

病児保育室おひさまは、８月より再開させていただきます。

再開準備を整え、お子さまと心を通わせた保育看護に努めてまいります。

遠足

今年は３グループに分かれての遠足です。

５月８日(月)はあいにくの雨模様、屋内で遊べる五福児童館にしゅっぱーつ！！ひろーい体育館で思いきり走りまわったり、初めて見るボルダリングに挑戦してみたりと、たくさん体を動かして遊びました！

乳児院にはない絵本やパズルにも夢中になって取り組みました。

５月 17 日(水)、5月 26 日(金)は念願の富山市ファミリーパークにしゅっぱーつ！！車に初めて乗るお友だちもいて緊張した表情でしたが、到着する頃には慣れてとても楽しそう♪全部の動物が怖くて泣いてしまう子ども。ライオンを間近で見て大興奮の子ども。大好きなクマを見られて嬉しそうな子ども。歩くことだけで楽しくて、にこにこと歩いている子ども。たくさんの表情を見ることができました。

お昼ごはんは子どもたちの大好きなサンドウィッチ♡お弁当箱に山盛り入ったサンドウィッチを美味しそうに頬張っていました。

遠足から何日経っても、「きりんみた！」「ライオン、えーんえーん」と遠足での出来事を話してくれ、楽しい思い出になったことが伝わってきて、養育者にとっても思い出深い行事となりました。

七夕

７月７日(金)に七夕行事をしました！

今年は赤十字病院に飾ってある笹の前で写真を撮らせてもらいました📷

おやつはアイス☃冷たい感触にびっくりしながらも、甘い味にうっとり💜

お腹を満たした後は星を探しに行きました。「あった！」という嬉しそうな声がたくさん廊下に響き、探索した後は部屋を暗くして手作りのプラネタリウムを楽しみました。不思議そうに眺めたり、床に映る星を掴もうとしたりといろんな反応を見ることができました！

お部屋に戻ってからは画用紙にシールをペタペタ貼ったり、色鉛筆でぐるぐると書いたりして、子どもたちそれぞれの個性が作品に表れていました。

お昼ご飯はお星さまのサンドウィッチとピザパンでした✨大きく口を開けて美味しそうに頬張りお口をパンパンにして食べる姿を見て、思わず笑みがこぼれてしましました。

子どもたちの笑顔もキラキラの一日でした✨

７月４日（火）に、北陸中日新聞社会事業団様より図書カードと QUO カードのご寄付をいただきました。

贈呈式では、北陸中日新聞の坂本富山支局長から平岩院長に目録が手渡されました。子どもたちの大好きな絵本購入に使わせていただきます。ありがとうございました。